

読書のすすめ

古い教科書

降 矢 震

近ごろ、さまざまなめ事がふえてきました。精神病学者によると、何でも自分本位に考え、悪いことは全部他人のせいにする。考え方が短絡的。すなわちヒステリー状態にあるから、だそうです。当事者たち、これを取りさばく人びと、批判する立場など、それぞれもつともらしいこと

をいうが、その見識の狭さ、心の貧しさにはただ驚くほかはない、と嘆く人もいます。

飯を食べながら、また通勤電車のつりかわにぶらさがりながらも寸刻をおしんで物を読んでいる人が多い。われわれは無類に読書好きな国民らしいです。読書は心を豊かにし、見識を広める効能があるはずなのですが、結果は逆です。読むものを取り違えているからでしょう。古今のすぐれた文藝作品、専門家の苦心になる人文、自然科学の多くの編さん物、新しい出版物でも、推薦書とされた良書はたくさんにあります。しかし恒常的な超ベストセラーは新聞、雑誌です。流行に便乗した評論や、人が犬をかんだのでなければ記事にはならない”という意図で書かれた記

事ばかり読んでいます。しかも飯を食べながら、電車のつりかわにぶらさがりながら機械的に目を通していて、何で“犬が人をかむ”という常識的な“ものさし”が得られまじょう。新聞、雑誌を見る時間の半分とはいわない。せめて十分の一でも筋の通った良書を読むべきです。飯は家中で和気あいあいと食べ、電車のつりかわには目でもつぶって静かにぶらさがっているべきです。

良書を選ぶ暇もないし、買う余裕もない方々には、昔使った教科書を読むことをおすすめします。必要なことを僅かな紙数に網らしようとするから、教科書の表現は簡略で味気ないものが多い。その上試験のための枝葉末節の暗記ですっかりいや気がさしているから用がすめば棚の奥

にほうりこんで見むきもしないのが普通です。ところが、これを試験とは無縁となった今、取り出して読んでみると学生時代には全く考えられなかった趣きが行間から滲み出てくるに違いありません。教科書だけに止まらず、唐詩選を買って読もうとか、歴史大系がみたいということにもなります。また泰西名画展へ行っても、教科書程度の西洋史の知識がしつかり頭に入っていればおもしろさもまた格別ということになります。

専門教育の場合も同様ですが、一冊の教科書の原典は何百冊とあります。関連の書籍となれば無数に広がっています。数百ページ、百時間足らずのわずかな講義は、その科目への入門にすぎず、いかに将来自分で勉強するかを教えるに過ぎません。

卒業後専門の分野に入れば、そのための座右の本はかなりの量になるでしょうが、縁のうすい部門とのつながりはかつて学生時代に使った書きこみでいっぱいのおうすよごれた教科書、参考書です。専門外の必要事項はこの古い教科書の適当な場所に書き込めば特にカードなど作る必要も無い。この点、一般教養についても、家庭の主婦でも同じことと思います。教科書は無限に広がる知識の最初の手がかり、索引だともいえます。

手あかでよこれ、すりへっていても自分で使った教科書はいいものです。全部忘れてしまっても読み直せばすぐに当時の細かいことまで思い出せます。書き込みを禁止する先生がいたが、これは間違いだと思えます。書き込みは多ければ多い方がいい

い。現在は住宅事情から、古本はクズ屋に払ってしまえということになります。昔使った教科書だけは保存したらよいと思います。

昨今人類の終末についての論議が盛んです。実際には大変なことらしいですが、いたずらにマスコミの餌食になって騒いでみてもどうにもなりません。朝に道を聞けば夕に死すとも可なり」とか「永遠とはこの一瞬を完全に生きることである」ともいわれています。凡人のわれわれはどのようにに悟ることはむずかしいが、今こそ充実した毎日を暮らしたいものです。読書の第一歩として古い教科書を繰返し読むことをおすすめするゆえんであります。

(千葉大学医学部附属病院)